



南稚内の新しい街づくり

稚内商工会議所青年部（Y E G）

令和5年

アジェンダ

- 1 | 南稚内を「進化」させるために
- 2 | 現状分析と課題
- 3 | 住んでうれしい、来てうれしい街を描く
- 4 | 街をより良くするアイデア（利便性向上）
- 5 | 稚内に来てもらうアイデア
- 6 | 稚内を知ってもらうアイデア



1. 南稚内を「進化」させるために

「どんな地域にしていきたいか」

より活性化や発展するために、現状を見つめ、あるべき姿を想像する



ステップ1
現状分析

地域住民は今、何が不足していて、何か必要なのか？



ステップ2
夢を描く

長期的に考えてどういう地域にしたいか
活性化させるには、どうすればいいのか？
※実現可能性より先に、まずは「描く」



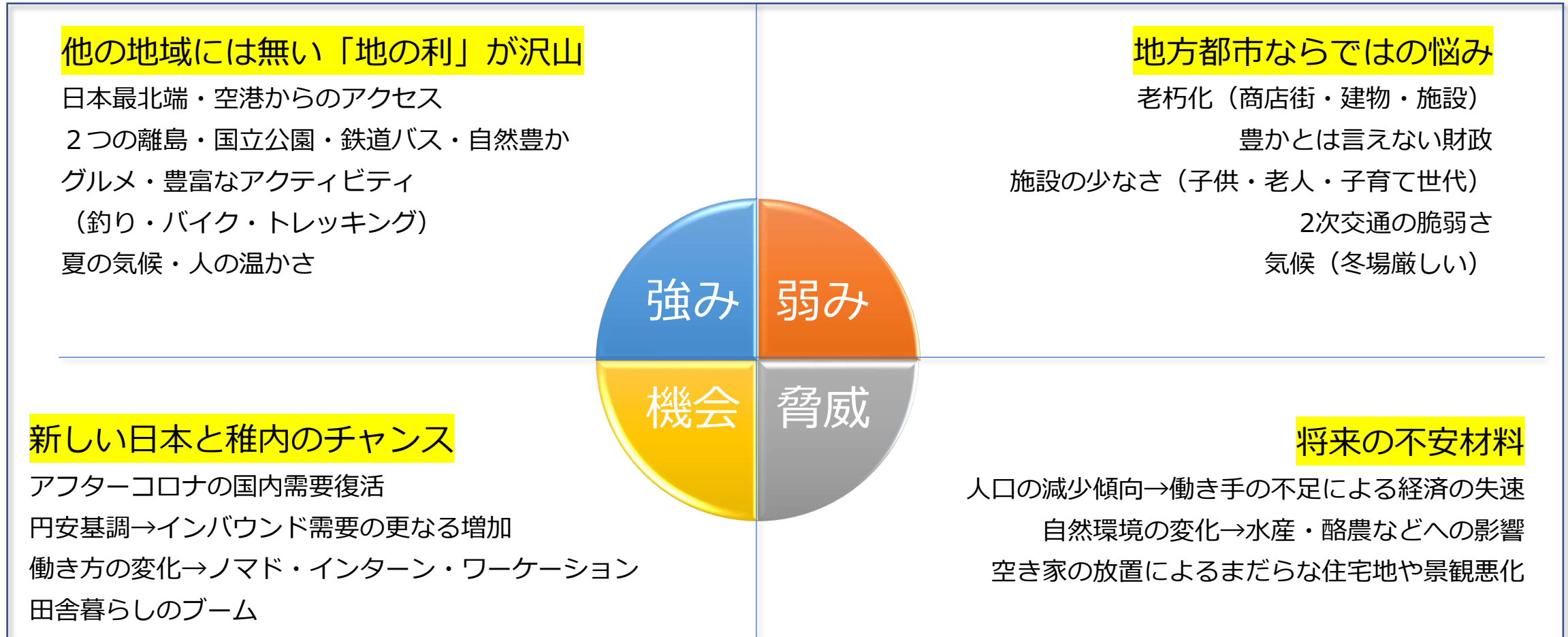
ステップ3
アイデアの具現化

支援のあてがあるわけではない。
まずは自分たちで発信力を高め
観光客増加・誘致を目指す

2-1. 稚内市全体の現状分析

アフターコロナ後は稚内市の「強み」を生かせるチャンスが多い。

この追い風を有効活用する為にハード面（街づくり）とソフト面（サービス）を整える必要がある



2-2. 南稚内駅（大黒地区）の現状

駅前・商店街があるにも関わらず空き地・空き家が多い
資産価値の機会損失・治安上の問題もあり、早急に改善が必要



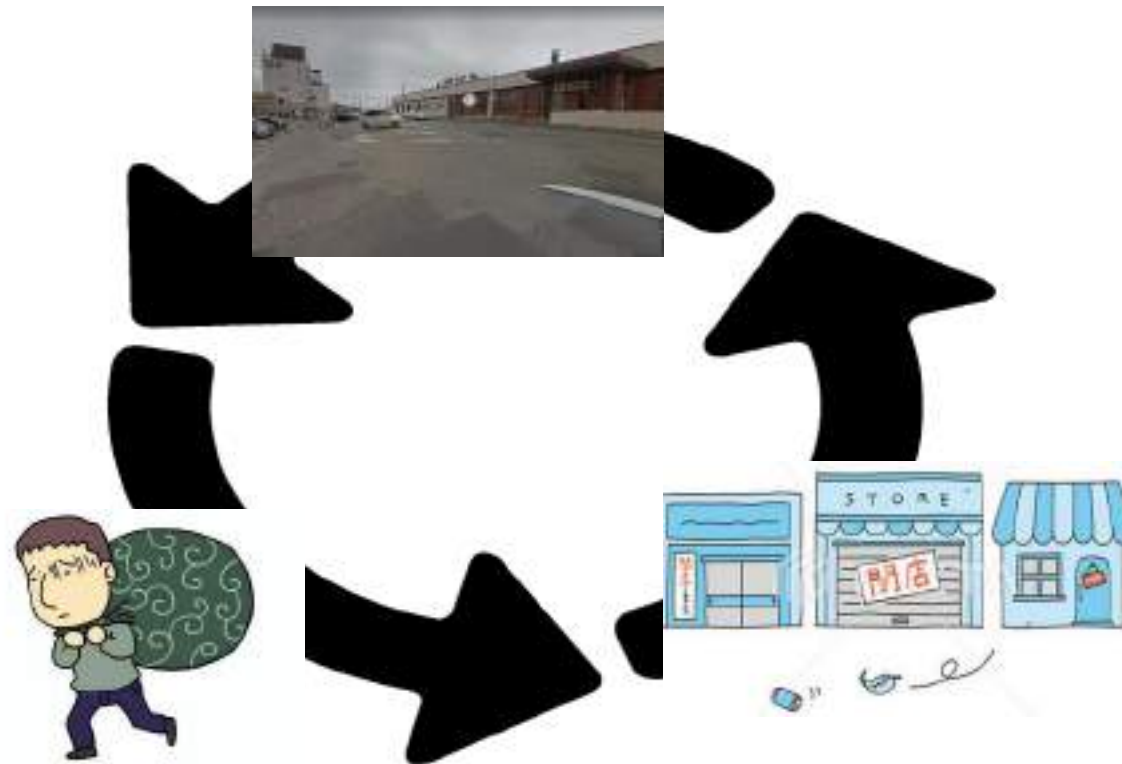
各所に施設・商業地区が点在している状態。市民は買い物や食事など車を使ってあちこち移動しなければならない。

2-2. 南稚内駅（大黒地区）の現状

駅前がさみしく、住みたい人もいないし、住める場所もない。

住む人がいないと、店も施設も建たない。

不便だと、ますます閑散とする。廃れていくループ



2-3.その他、南稚内地区の様々な課題

南地区（特に大黒地区）は、買い物環境・飲食店などの繁華街・金融・小売店の集積地
しかし「地域面」「観光面」に様々な課題がある

地域面

- 南稚内駅前のアクセスが悪い
- コロナ禍で飲食店のテナントビルは、テナントが減少
- イベント施設で100~200人の収容できるところ近くに無い。
- 若い人たちの交流の場や居場所がない。特に冬場は家にこもりがちになる。コミュニケーションが希薄になる
- 子供を遊ばせるところがない

観光面

- 店が一杯で混雑状況がわからない（南の飲食店も人手不足：夕食難民）
- 夏のセールスの人が泊まるには値段が高かったり空きがない。
- お店の外で看板があって、メニューのわかるお店が少ない
- 稚内の観光はオフ期が長い（観光客に特化しづらい）

3-1.住んでうれしい、来てうれしい街を描く

現在の市民はもちろん、稚内に移住したくなる、訪れた観光客がリピートしたくなるような街づくりをハード・ソフトの両面から作り上げていく

市民



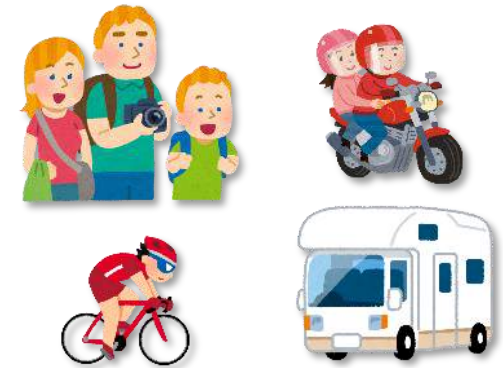
- ・子育てがしやすい街
- ・高齢者も住みやすい街
- ・住み続けたい街
- ・健康でストレスフリーな街

移住者



- ・移住者にやさしい街
- ・リモートワークに便利な街

観光客



- ・国内外の観光客はもちろん、バイクサイクリング、キャンパーなどが訪れたい街
- ・魅力ある街
- ・旅行中、快適に過ごせる街

3-2.住んでうれしい、来てうれしい街を描く

地域住民にも観光客にも魅力的な街にするために
3つの視点でビジョンを立てる



街をより良くする

- ・『利便性の向上』導線を作る・暮らしやすく・訪れやすく



稚内に来てもらう

- ・市民・観光客それぞれが集まる・楽しむ場所や仕組みを整える



稚内を知ってもらう（ブランディング）

- ・発信することで、街に興味をもってもらう

4. 街をより良くするアイデア（利便性向上）



街をより良くする

- ・『利便性の向上』導線を作る・暮らしやすく・訪れやすく

稚内に来てもらう

- ・市民・観光客それぞれが集まる・楽しむ場所や仕組みを整える



稚内を知ってもらう（ブランディング）

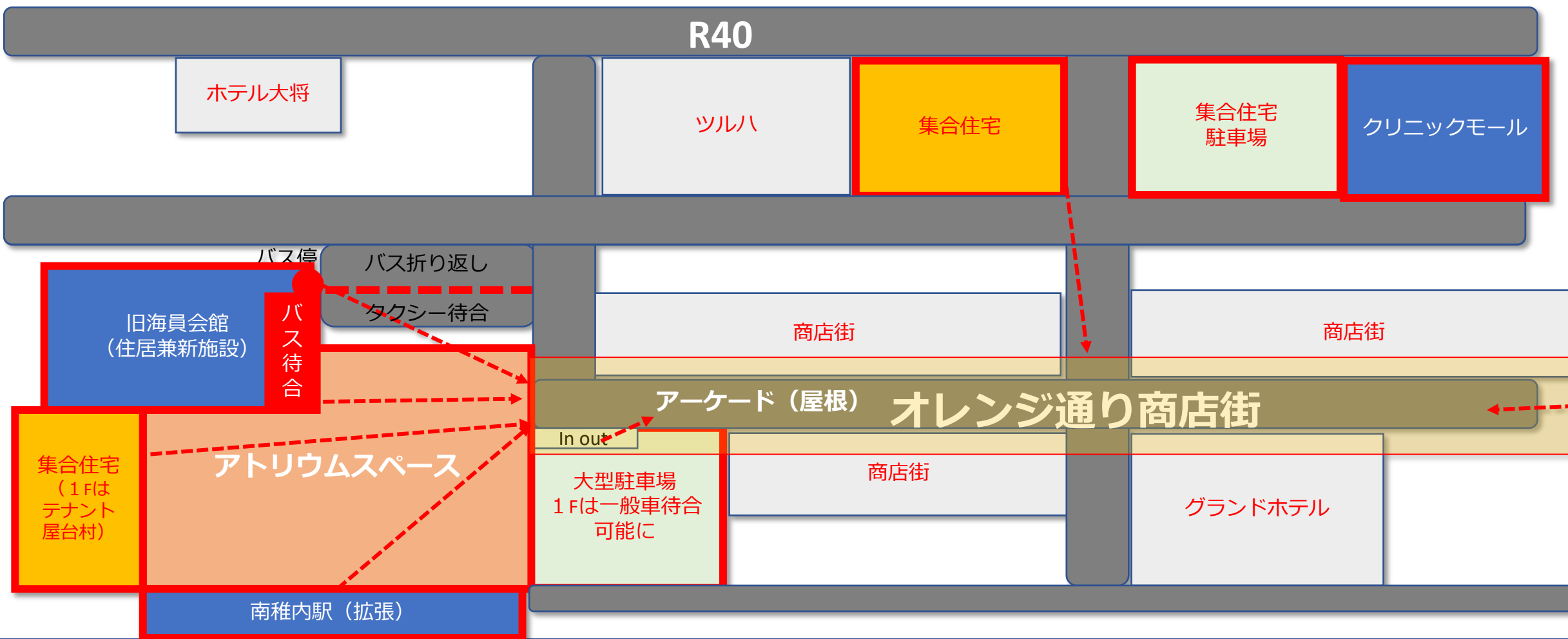
- ・発信することで、街に興味をもってもらう



街をより良くする 駅と商店街に人が集まる街づくり

周辺に人が住んで、人が集まれる起点を作ることによって（バス・駐車場）駅と商店街を活性化させる

人の流れ





街をより良くする 駅前にアトリウムを設置

駅とバスの乗り場・コミュニティセンターへ雨に濡れずに移動出来る、
稚内の強い風を防げる、待ち時間を待機できるアトリウムを設置

駅とバス・施設・商店街をつなぐアトリウムを設置



雨風しのげるバス待合所



バス停も屋内型



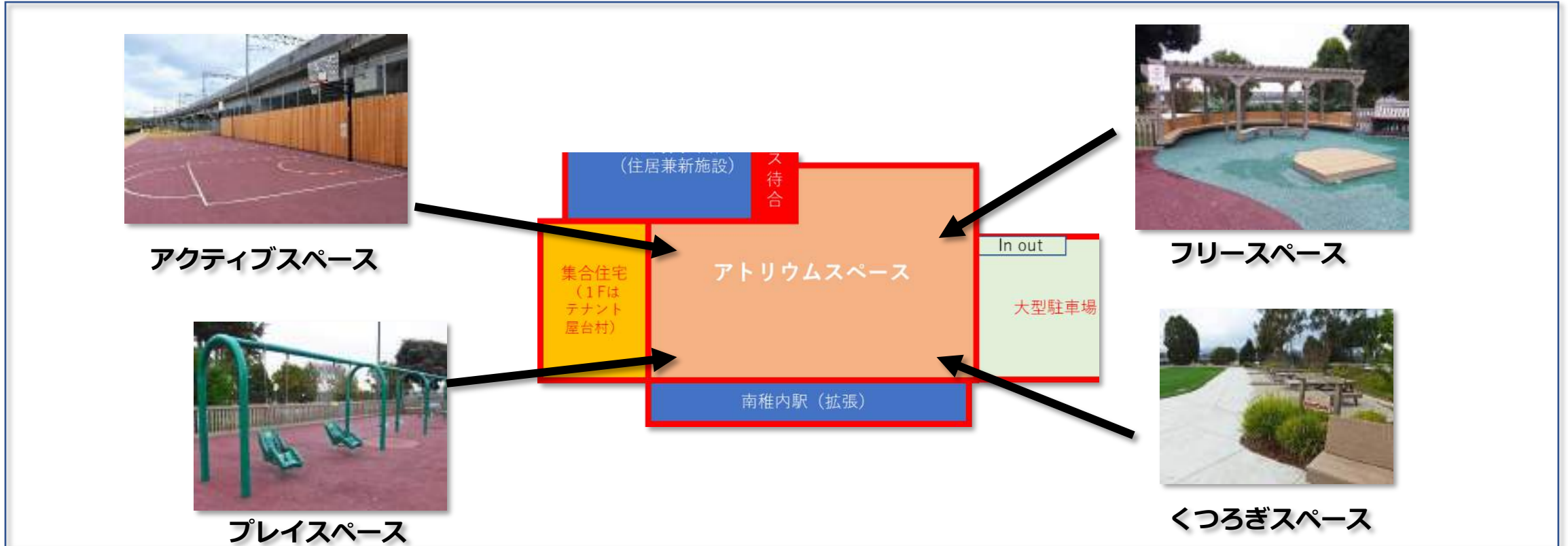
旧海員会館前のスペースを大きくとって、
イベントができるようにする
(風対策のためにアトリウム)

駅・バスの利便性向上により、市民・観光客両面に恩恵あり
バスの停留所には待合室を設け、悪天候でも快適に待てるように



街をより良くする アトリウム公園概要

厳しい吹雪の中でも外遊びが出来る、屋内公園



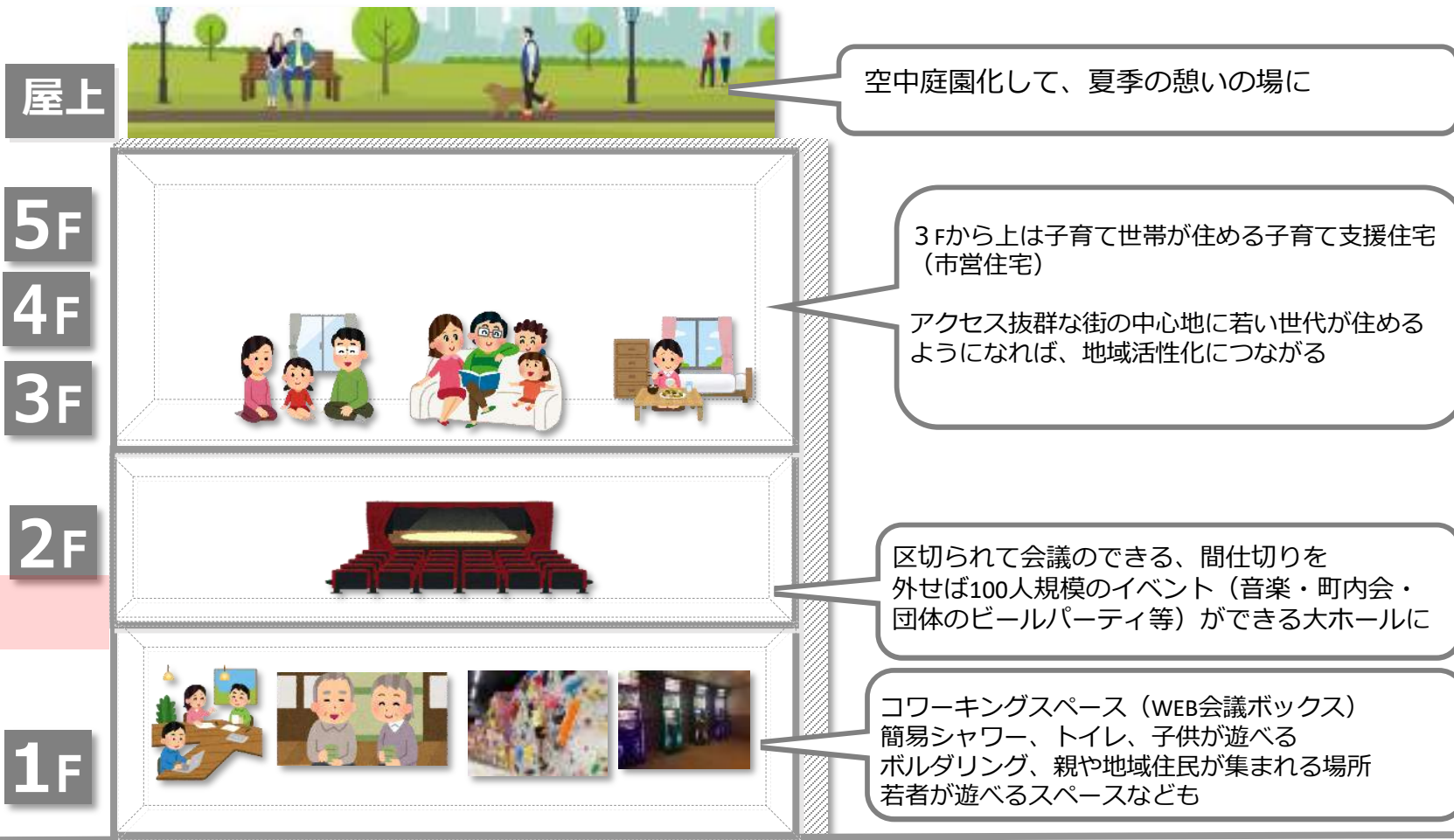
インクルーシブな※公園を目指す

- ※ 1. 「だれもが利用できる」 2. 「豊かな遊びがある」 3. 「人や地域とゆるやかなつながりがある」
- 小さい子供、若者、高齢者など誰でも自由に使える屋内公園



街をより良くする 海員会館跡地

コンベンションセンターと市営住宅を併せ持つ新しい建物に



駅まで続く大型アトリウム



野外イベントなど



バス停留所&待合室



音響設備が整ったスペースで思い切り音を出して楽しめる
ライブ・クラブ・ダンスイベントが楽しめる音楽スペース

市民が思い切り、音楽を楽しめるスペース



ダンス・バンド・クラブイベント・日々の練習
昼も夜も日替わりで楽しめる多目的ホール



市内の老人のカラオケ大会
合唱コンクール、ビッグバンドなど
多岐にわたる使用が見込める



街をより良くする 海員会館跡地屋上の空中庭園

屋上を空中庭園に。市民向けのイベント・マルシェが開催できて、夏季はバーベキューが楽しめる。春は花を植えてフラワーガーデンに

屋上の空中庭園



バーやバーベキューが楽しめる
マルシェやフリーマーケットなどの出店もできる場所に



街をより良くする 地区内循環マイクロバス

商店街発着のマイクロバス

運転が出来ない人・免許返納後もコストをかけずに街に出かけられる

市内移動をより快適に



小型バス運行で南地区・北地区を循環



駅や駅前の施設に隣接した
バスターミナル、
待合室もあるから
傘をさして待たなくていい



バス内外広告・アナウンス広告・
発着点の購入権などを
運営資金源とする

街をより良くする 商店街前に立体駐車場

1日泊められる駐車場で、商店街を元気に
駐車場利用をフレキシブルにすることで、商店街へ気軽に来れるように



駅近に立体駐車場を設けることで
駅前を省スペース。商店街への
アクセスがより簡単に、商店街で委託管理をする

様々なメリット



商店街利用で一定時間無料 → 商店街の集客



夜の居酒屋利用で一泊無料・タクシー割 → 飲食店活性化&飲酒運転防止



JRやバスで札幌・旭川に移動する人に車を置いておけるように
→ パーク&ライドでJR利用促進に





駅前に集合住宅を建設することで、若い世代を呼び込む

街に住む人を増やすことが、街の活性化につながる



子育て世帯が長く住める3LDKアパートを建設
民間アパートを新築する方に対して、建設費の一部
を助成する「民営賃貸住宅建設促進助成制度」

地元の業者に仕事を増やすことで経済活性化になる
若い世代が大黒町に住むことで地域が活性化する



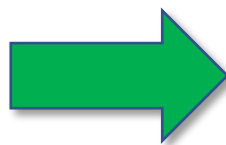
街をより良くする 空き家の活用

市内に居住する建物を無償で、子育て世帯に譲り渡すことで、若い人が古い住宅を安くもしくはただ同然に取得する。

次の世代へバトンタッチすることで、街の鮮度を高める！



古い住宅を譲った人は
優先的に駅前（経済の中心部）の
市営住宅に入れる。歩いて行ける生活圏が
手に入る（遺贈も推進）



若い人の住宅費を安くし、生活にゆとりを持たせ、
子育てなどをしやすくする。消費の拡大にもなる。

改修費用は、市の助成や信金の金利優遇などを組み合わせる
→ 市内の建設業者を利用することで建設業の活性化



南地区に病院を誘致

病院の誘致&子育て世代や住居譲渡者の受け入れ住宅に



子育て世代も高齢者も
 病院もショッピングも徒歩圏内で過ごしやすい
 ※ 1人親・遺贈者を優先

クリニックモールにすることで
 一か所で診察を完結できる
 ワンフロアで開業もしやすい
 南地区の病院誘致につながる



街をより良くする 簡易喫煙所の設営

喫煙者に我慢させるのではなく、分煙させる事で
吸い殻のポイ捨てや受動喫煙を減らすことができる



ポイ捨て防止による、景観の悪化や火事の予防
幼児・ペット誤飲防止
分煙による受動喫煙防止・子供のやけど防止など
小さなブース一つで様々なメリット



商店街内に簡易喫煙スペースを設置
(池袋でも新宿でも、駅前にスペースがある)

5. 稚内に来てもらうアイデア



街をより良くする

- ・『利便性の向上』 導線を作る・暮らしやすく・訪れやすく



稚内に来てもらう

- ・市民・観光客それぞれが集まる・楽しむ場所や仕組みを整える



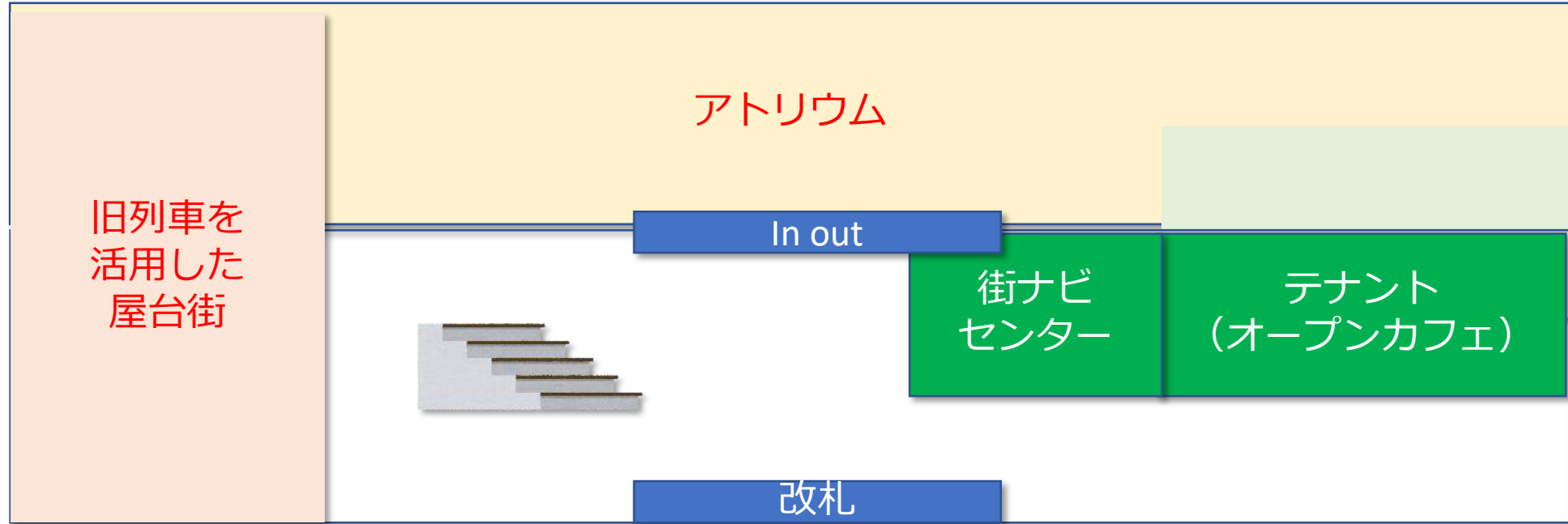
稚内を知ってもらう（ブランディング）

- ・発信することで、街に興味をもってもらう

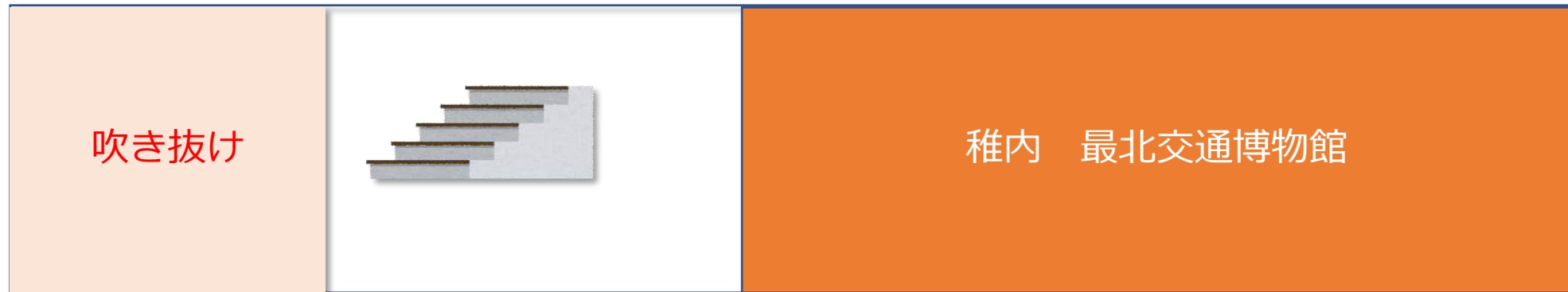


稚内に来てもらう 新駅舎構想

1F



2F



✈ 稚内に来てもらう 1F-駅施設と連結し街のハブに

駅をフルモデルチェンジ。人と人、商店街、観光地をつなぐ「情報発信基地」へ

「街ナビセンター」



↑ 函館市にある大型観光端末

多国語で街の案内が可能
オレンジ通りの飲食店や
稚内の観光や移動を検索可能に
観光案内所（観光協会の誘致）
観光ボランティアガイドの拠点



2Fは鉄道博物館に

特色のある屋台村



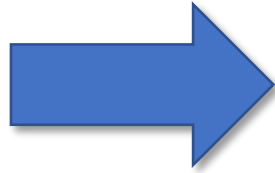
鉄ちゃんをターゲットにした、
電車を活用した屋台村



稚内に来てもらう 旧車両を活用した屋台街と博物館

1Fと2Fを吹き抜けに 稚内の古き良き鉄道文化を残す施設に

1F



屋台でテイクアウトして、旧車両で食べる、鉄道ファンの名所化に。観光客が迷わずにグルメを楽しめる。屋台村には新規創業者のチャレンジ店舗を用意（少ない投資で起業できる）

2F



特急利尻・サロベツトロッコを見下ろせて、全体像が見れる吹き抜けスペース、当時の寝台スペースが見れる、鉄道グッズの販売スペースなど



稚内に来てもらう オレンジ商店街を「稚内の食の発信地」に

商店街に来れば様々な食を楽しめる

→ フリーWi-Fiで検索できる、入店できる流れを作る

駅の情報発信基地から商店街に流れる人の導線をつくる



オレンジ通り商店街



稚内信用金庫南支店新店舗

東西両方から人の流れをつくり商店街を活性化

屋根で雨風を防ぐことで、お店の前にメニューなどの看板を設置できる



稚内に来てもらう RVパーク

商店街の徒歩圏内にキャンピングカー・車中泊者が
安心して拠点にできる、RVパークを設立
(候補：駅横の老朽化ホテルの跡地やその反対側の土地等)



日本RV協会公認車中泊施設「RVパーク」
<https://www.kurumatabi.com/rvpark/>

日本RV協会が『快適に安心して車中泊が出来る場所』を提供するために定めた条件を満たす車中泊施設



充電器、トイレ、シャワー、洗面等
インフラ整備→夏のホテル満床期も
車さえあれば観光することが出来る

✈ 稚内に来てもらう 中心街近くのキャンプ場

市外から訪れた人が気軽に安心して利用できる、街から至近距離に
キャンプ場を用意する



末広公園や南中学校裏の山を開拓し、
キャンプ場開設
→商店街からも近く、安心して宿泊出来る



商店街で飲んでから、徒歩でテントまで
帰れる！稚内ならではのロケーション



稚内に来てもらう 簡易宿泊施設

宿泊所が少ない稚内に、新しい時代に合わせた簡易宿泊施設を設営

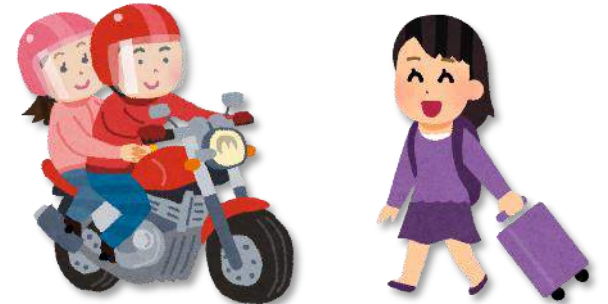


女性も安心して使える
簡易宿泊所（モダンカプセルホテル）

市民にも、観光客も使いやすい



翌日も仕事ならば、
タクシーで帰るよりも
一泊してゆっくり泊まれる



ツーリングや一人旅でも気軽に
使える・夏季の満床シーズンでも
泊まることできる

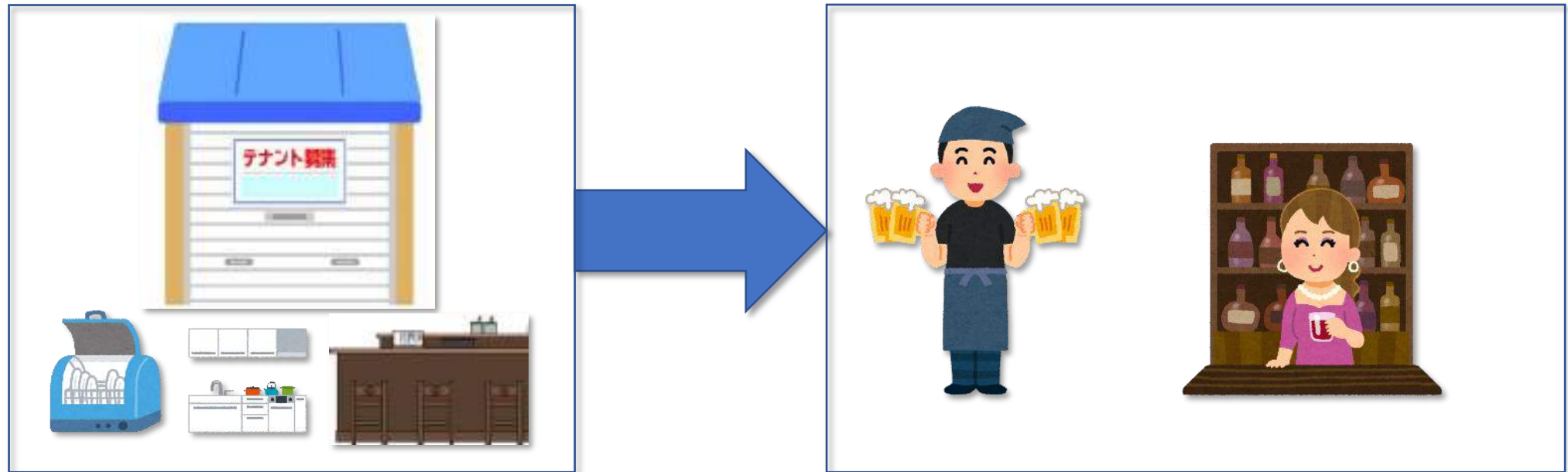
✈ 稚内に来てもらう 夏季の快適ワーケーション

市で問題になっている空き家を有効活用
地方で短期的に仕事をしたいワーケーションユーザーに提供することで
家を管理する人・管理する市の収入につながる



期間限定でお試し出店が可能な管理施設を設ける

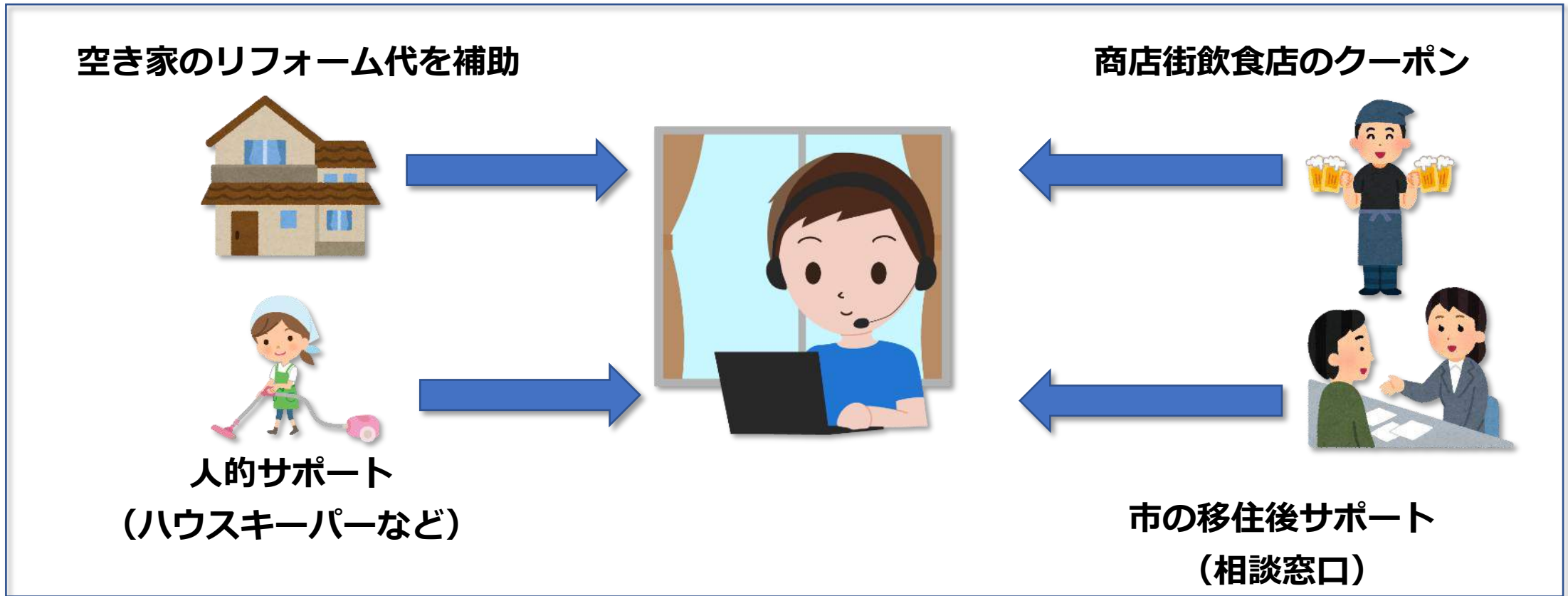
→ 起業に興味がある市民・市外の人を応援



冷蔵庫・カウンター・洗い場など共通設備で出店できる業態に限定されるが、
実質居抜き状態で出店が可能に（出店に伴うコストを抑えられ、失敗したらノーリスクで退去できる）
（新規創業者支援事業助成金 商店街空き店舗活用事業助成金 新規開業者等向け融資制度等を活用）

✈ 稚内に来てもらう 東京のリモートワーカーを誘致

都内に勤務先があるフルリモートワーカーを誘致。住民税の収入源に
(IT系のリモートワーカーは年収1千万以上の高収入者も多い)



月一回程度出社する高収入ワーカーを誘致することで、市の貴重な財源に



稚内に来てもらう 観光客の道しるべ（稚内観光アプリ）

観光客のスマホにインストールするだけで、稚内のあらゆる情報が
一目でわかる（チラシ・パンフ不要、Englishモードで外国人にも優しい）
→ 市内商店の活性化にもつながる



例：新島観光アプリ しまっぷり



観光スポットの情報を
多言語で解説！



行きたい場所が
すぐに見つかる
（食事・観光地・
ホテルなど）
曜日ごとの混雑状況も
わかりやすい



オレンジ通り商店街全域に
フリーWi-Fiを整備

町中のFree Wifiに
簡単に接続できる



稚内に来てもらう お店のおもてなしサポート

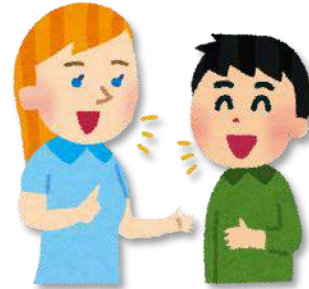
外国人観光客が稚内市に安心して来られるように
市全体で準備しておく



メニューの英語表記サポート
(多国語表記メニュー
作成で市から補助金)



店舗・施設へ
ポケット貸与



サービス業従事者の
英語学習補助



何の店か、どんな
メニューかわかる
看板設置で補助金
(2か国語表記)

6. 稚内を知ってもらおうアイデア



街をより良くする

- ・『利便性の向上』導線を作る・暮らしやすく・訪れやすく



稚内に来てもらう

- ・市民・観光客それぞれが集まる・楽しむ場所や仕組みを整える



稚内を知ってもらおう（ブランディング）

- ・発信することで、街に興味をもってもらおう



稚内を知ってもらおう (コンテンツ)

稚内市のアンテナとなるアンバサダーとして
稚内あるあるをツイッターで連載中の「しろまる最北日記」をご提案



高木今日太さん

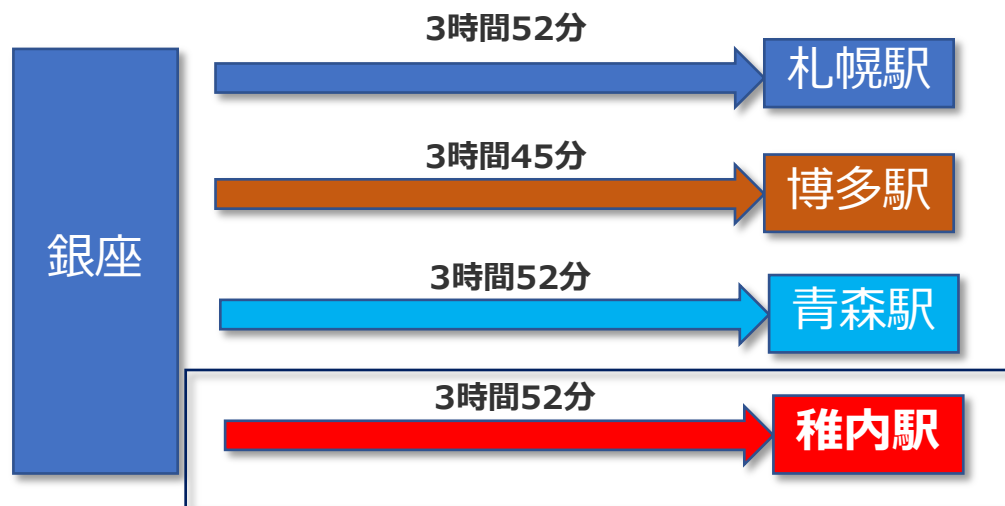
横浜市から稚内へ移住した、Iターンのアマチュア漫画家。

→稚内をよく知っているこのキャラクターに、パンフやWEBを通して出演してもらおう



稚内を知ってもらう (コンテンツ)

意外と近い、「日本最北端の街」
→ 首都圏の旅行者・インバウンド需要を狙う



※ 日曜日：9時台発 ヤフー乗り換え

日本最北端って、
意外と近所。



羽田空港からのアクセスの良さをアピール
(札幌と同じ所要時間で行ける事を意外と知らない)

稚内を知ってもらおう (プロモーション)

身の丈にあった予算で、可能な限り集客できる方法を模索



SNSキャンペーン
(例：しろまる日記掲載場所で行ってみたい・体験したい場所をスクショして投稿)
→ 旅行券があたる！



訪日旅行者向けのサイトに
広告掲載



登録者数50万人程度の
セミプロのyoutuberに
稚内でワーケーションをしてもらい
毎週配信することで、低予算で広告



END

稚内商工会議所青年部（Y E G）

令和5年